

高校生善行表彰 授賞記録（過去の事例）

奉仕活動	
社会福祉施設等への慰問や奉仕活動	社会福祉施設等への慰問や奉仕活動
【団体】ボランティア部 平成24年8月から夏休みを利用して近隣の小学校へ出向き、勉強を教えている。この「ぐんぐん教室」の活動は、小学生が主体的に学習に取り組む習慣を身に付けることができるための学習支援である。小学校の先生方から大変感謝され、期待もされている。通常の学校教育だけでなく、地域社会における新たな教育的アプローチを促進する先駆的な役割を高校生が果たしている。また、ボランティア活動の中心となる高校生自身のモチベーションを維持することが必要であると考え、「ぐんぐん教室」以外の定期的な活動やフィードバックを通じて、意識の向上や維持を心掛けている。	【個人】 「SCH地域活動相高プロジェクト」（希望参加するボランティア活動）において、全校生徒の中で、最も多く活動を行った。①相良サンビーチの海岸清掃（環境美化活動）を2年間行った。②静和会館科学教室、ビタミンフェスタで、地域の児童クラブ（相良小学校、地頭方小学校）に訪問し、講師役として児童たちに科学の楽しさを教える活動をした。③「ぼくらのまちはのほら」のサポートスタッフとして、将来の地域社会を担う子供たちに仕事に対する理解や働く意欲を高める活動をした。④サマーショートボランティアとして「あおぞら保育園」で園児たちの世話をし、保育士さんの仕事のお手伝いをした。
社会福祉施設等への慰問や奉仕活動	社会福祉施設等への慰問や奉仕活動
【個人】 中学校1年生から6年間継続して、「静波児童館クラブアート教室」にて幼児・小学生への描画指導や工作補助を行った。その他にも、高校1年生から3年間、牧之原市役所が関わっている「地域リーダー育成※」では、グラフィックレコーディングの手法を用いて、見易く分かり易い会議録を作成した。社会人となる今後も、継続して活動していく予定である。 ※地域リーダー育成プロジェクト：高校生と地域が連携協働し、地域に誇りを持ち、将来地域を担い、地域の課題解決に貢献する人材を育成することを目的とした地域事業。	【団体】ボランティア部 平成18年4月から、隣接する小学校の障がい児学童クラブで放課後子供たちと交流している。保護者の時などには、遊び会を開き子供たちの託児をしている。今では地域にある特別支援学校、幼稚園や公民館、こども館の行事のボランティアの要請が増えている。一時中断されていた献血運動も7年前から継続している。校内献血セミナーと献血を行い、4年連続でアボちゃんサポーターとして、「FMしまだ」での献血啓発キャンペーンと献血呼びかけ活動に取り組んでいる。年末助け合い募金や災害時の募金活動も継続している。平成28年度の静岡県高等学校総合文化祭では、県教育長と高文連会長の挨拶を手話通訳した。昨年度、高校生ボランティアアワード2016より表彰された。
地域社会の環境美化運動	地域社会の環境美化運動
【団体】ライフデザイン科セラピーコース 5年前から函南町地域包括支援センターと連携して、認知症の方とその家族や地域住民が園芸を楽しみながら交流できる認知症カフェ「ふる～るカフェ」を本校の実習室を使って、毎月の第1土曜日午前中に開催している。また、伊豆の国市社会福祉協議会と連携し、今年度で3年目になる「いずのんこどもファーム」では、こどものサポートや冬季の栽培のない時期にクリスマスリースを作るワークショップを企画・運営をしている。また、NPO法人「こころのまま」の「こころのままアートプロジェクト」の障害者のサポートボランティアに昨年度から参加している。	【団体】山岳部 8年前から「柿田川・東富士の地下水を守る会」に協力し、落葉広葉樹の植林に参加している。会員の多くが高齢であるため2メートルを超える苗木などを現地まで運ぶのが困難な状況である。山岳部での活動で培った体力や技術を生かし、この活動に参加している。 また、富士山須走口登山道の清掃活動を3年前から実施している。この活動は7月の山開きから山閉いまでの2か月間、毎週富士山頂まで往復し清掃活動を行うものである。回収したごみ類は毎回30キログラムを超え、気圧の低い高所での清掃活動であり、気象の変化も激しい環境でのボランティアは山慣れた山岳部員ならではの活動である。
募金活動	公衆道徳の向上のための活動
【団体】フェアトレード研究会 2020年度当時の生徒の探究的活動がきっかけで、フェアトレードについて学ぶ研究会ができた。外国人の方々が多く居住している浜松市で、「人種や差異を超えてともに支え合うことの重要性」「貧しい方々が搾取されない公正取引の必要性」について自主的に学んできた。また、フェアトレードの活動に尽力される社会人への取材や、流通についての学習を重ねつつ、鹿児島県徳之島でフェアトレードに取り組んでいる農園を訪問し、生産者の方々の仕事を体験し学んだ。本年度も、文化祭や地域の協働センターでのお祭り、花博等で徳之島フェアトレードコーヒーの販売や宣伝、講演会などを行い、徳之島コーヒー生産者会の皆様を支援するための募金を行った。公正に取引される国産コーヒーが流通すれば、フェアトレードコーヒーの選択肢が増えて、地産地消が進み、環境負荷も少なくなる。そうした流れが少しでも増えていくように取り組んでいる。	【個人】 地域の外国籍の若者や子どもの健全な成長を願う父親が運営するスポーツ団体は、毎週土曜日にバスケットボールやフットサル、バレーボールなどのスポーツ教室を、午後6時から午後9時までの3時間、40名（本校定時制生徒・卒業生を含む）以上の若者（日本人を含む）を集めて実施している。この生徒は中学時代から6年間マネージャーを務め、会の運営を支えている。また、高校入学後1年次から生徒会副会長となり、学校全体のリーダーとしても大いに貢献している。自ら志願して1年次の卒業式から4年次の入学式まで、式典に参加するブラジル籍の保護者への通訳として受付や事務処理までを請け負ってきた。プライベートでも老人ホーム等への慰問（年5回以上）を小学校入学以来13年も続けているなど福祉活動に積極的に参加している。人格的にも道徳心に優れ、校内で人望を集めている。

公衆道徳の向上のための活動	公衆道徳の向上のための活動
【個人】 中学校時代から太鼓部副部長として介護老人施設への慰問や東日本大震災チャリティコンサートに参加するなど早くからボランティア活動に関心を持ち、ライフワークのように弱者に寄り添う地道な活動を行ってきた。高校入学後は、ダンス部に所属し、外国籍の生徒に参加を呼び掛け、活動をととして国際交流の場を広めた。また、地域貢献の趣旨から自ら「遠州はまきた飛龍まつり」に参加し、浜北商工会議所など地域の方々から指導を受けながらボランティアとし地道な活動を行い、平成28年、29年の2年間おまつりで、ステージ発表を働きながら学ぶ生徒や外国籍生徒とともにに行い地域の方々から評価を得た。また、生徒会長として、西日本豪雨に際しては、校内募金活動やアルバイト先の募金活動を積極的に行い、中日新聞社をととして寄付を行っている。まさに、社会福祉活動、国際交流、募金活動、地域貢献活動と多面的な活動を行った。	【団体】 ロボット制御部 LEGO 教材を活用したロボットプログラミング教室を数多く実施し、地域の小中学生から未来を担う人材を育成することを目的としている。小中学生に部員がマンツーマン指導を行い、平成29 年からロボット教室を行っている。コロナ禍の明けた後では以下のような実施経験を持っている。かぬきの広場では、夏休み期間に開催し、令和4 年と令和5 年の2 年間で香貫小・第三中学校に通う児童・生徒合わせて60 名以上を対象に教室を開催した。また、ららぽーと沼津では67 名を対象にロボット教室も開催した。このロボット教室では、3D プリンターを活用したおもちゃを製作し、ものづくりに興味を持ってもらうような活動も行なった。その他沼津第二小学校では約30 名を対象にロボット教室を開催している。このような活動から地域の方々から大きく評価されている。
善行・その他	
救助・救援活動	救助・救援活動
【個人】 7月10日（月）夕方、天竜浜名湖鉄道で下校中の車窓から掛川市大池の人通りの少ない路上で高齢男性が倒れているのを発見した。居合わせた友人と西掛川駅で下車し、現場に駆け付けた。付近のコンビニに119番通報を依頼した後、ペットボトルの飲料を購入し、体を冷やし、水を飲ませるなどの、救急車が来るまで男性を介抱した。この行為により、8月24日に掛川市消防本部から感謝状を授与された。	【個人】 通学路で高齢の女性が倒れており2人で駆けつけ、蒸し暑い日で熱中症を疑い近くのコンビニに水や氷を買に行き、女性の身体を支え、水を飲ませたり、氷を体にあてたり、日傘で日光を遮ったりして体を冷やした。また、救急車や警察への連絡を行い、到着までの間、意識がなくならないように声をかけ励まし続けた。救急車や警察が到着の際には、状況を説明し、倒れた女性が重篤な事態に陥る危機を回避した。
救助・救援活動	救助・救援活動
【個人】 令和7年2月5日15時頃、静岡市内で自転車に乗った年輩女性が転倒し、いち早く駆け付け迅速に救助・介抱にあたった。女性は暫くの間、立ち上がることができなかったが、本人は女性の自転車を（2次被害を避けるべく）道路隅に立てた上で、手を添えて身体を支え、温かな声かけで励まし続けた。女性が無事立ち上がることができ、外傷等がないことを確認した上で別れた。翌日、女性から本校へ感謝の電話をいただいたが、現場で名前を告げなかったため、学校で探し確認に至った。特定非営利活動法人や障がい者就労事業所でボランティア活動に熱心に取り組む心優しい生徒である。	【個人】 台風15号の豪雨災害（9月24～25日）で浸水被害が多発した。静岡市清水区内で、断水による休校期間中、「災害ボランティア」に積極的に参加し、熱心に活動した。休日を利用してボランティア活動に合計5回参加し、各地の被災者から深く感謝された。災害ボランティアを通じて、思いやりや助け合い、奉仕の精神の尊さを学び、視野を広げ、経験や感動を重ねていった。ボランティア精神旺盛で、学業にもひたむきな努力を継続しており、「グローバルリーダーの育成」を目指す本校の模範生である。人のために尽くす在り方生き方と、誠意と情熱を持って学び続ける姿勢を高く評価したい。
救助・救援活動	犯罪防止や防犯への協力
【団体】 野球部 5月17日（水）午後5時36分、掛川市の路上で1年生部員が高齢の女性が転倒して頭部を打撲する光景を目撃し、駆け寄って救護をした。その後他の部員も加わり、救急へ通報する者、女性の傍にいて患者の様子を観察し救急に伝える者、自分の荷物やタオルを女性の頭の下に入れるなど救護をする者、救急車の誘導と搬送されるまで交通整理で円滑な救助に関わる者など、適切や役割分担をした。学校側が19日正午頃と4時頃に本人達から詳細を確認した。	【個人】 沼津市岡宮で起きた車両5台が関連するひき逃げ事故で、逃走した容疑者の男の逮捕に協力した。逆走する容疑者の運転する乗用車が、車両4台と衝突するのを目撃し、最後の1台と衝突して車が停止した後、車を残して逃走する容疑者を自転車で約2キロ追いかけて、合流した警察署員に状況を伝えた。6月14日に沼津警察署から「感謝状」を授与された。
犯罪防止や防犯への協力	その他
【個人】 4月21日（木）夜、富士宮市神田川町で酒酔いあて逃げの車を目撃、近所の方とともに逃走する車を追跡し、酒酔い運転者の検挙に協力した。 ※その後7月22日に富士宮警察署長より「感謝状」を授与された。	【団体】 美術部 令和3年度4月から毎月、近隣の小学校校門にある黒板に黒板アートを制作している。美術部では、毎年卒業生に向けて黒板アートを後輩から先輩に向けて描いてきた。学校のHPやInstagramで紹介していたところ、近隣小学校から依頼がきて今日に至る。毎月、美術部生徒が季節に合ったイラストを考えて描いている。継続していることで、小学生や地域の方にも声を掛けていただくなど、地域からも認められてきているとともに生徒たちの励みにもなっている。